

脱原発・再生エネルギー特別措置法と

菅直人・孫正義（ソフトバンク）・韓国の邪悪な意図

■孫正義の牙

孫正義がいよいよこの日本に牙を向けた。

菅首相の「脱原発」と「再生エネルギー特別措置法」をネタにして大規模太陽光発電所の建設計画にのりだし、日本のエネルギー産業に本格参入を狙い、日本の原子力技術を奪おうとしている。



今回の孫正義の行動は、日本の原子力技術を奪い、日本の国力を低下させると共に、政界への影響力を強めるものに他ならない。

孫正義は、35歳で日本人に帰化しているものの、その左翼思想は拭い去ることはできない。したがって、仮に孫正義が日本のエネルギーを牛耳ることになれば、彼の思惑通りとなり、私たち日本国民の生活は彼に委ねられることとなる。当然、竹島奪還や拉致被害者の奪還も夢のまた夢となり、尖閣や沖縄は中国の領土となるのは明々白々である。

つまり、左翼思想ではこの日本を守ることはできないのである。

過去にソフトバンクでは、在日特権割引制度を設けたり、CMでは中国や韓国において最大の屈辱とされる犬を、日本の一家の主として採用するなど、日本を侮辱するとともに、日本人に気づかれないよう着々と日本国土を席卷しようとしている。（お父さんが犬であることにはすべてに意味があるとCMのセリフで発言）

いずれにせよ、左翼思想で覆われた日本は、国境のない国（国境なんてなくなればいいとCMで発言、つまりルーピー鳩山と同じ考えの幸せもの……）となり、西は中国領土、東はロシア領土となってしまうころだろう。（<http://dakkyaku.exblog.jp/12657284/>）

■韓国で「日本は犯罪者」発言のソフトバンクの孫社長 日本では脱原発なのに、韓国では「原発絶賛」のカラクリ

「日本は犯罪者になってしまった」今年6月下旬、韓国・ソウル市内で開催されたグローバル・グリーン成長サミットの席上で、ソフトバンクの孫正義社長は、原発事故で周辺に迷惑をかけたことを謝罪、冒頭の言葉を述べた。国際会議の場で、生まれ育った国を“犯罪者”とまで言わせたのは、信念である「脱原発」への思いがきわまったせいには違いない。

この訪韓で、孫社長は李明博大統領への表敬訪問も果たした。このとき「脱原発は日本の話。韓国の原発は高く評価している」という発言もしている。日本では脱原発を主張しながら、韓国では礼賛する。これこそ典型的な二枚舌ではないか。孫社長の矛盾した言動を、ネット上でエネルギー問題を論じ、多くのファンがいる金融トレーダーの藤沢数希氏が解説する。「ソフトバンクは電気を大量に使うデータサーバーを韓国に移しはじめていますが、そこから孫さんの本当の狙いが見えてきます」韓国では電力の4割以上を原発で作っている。一方、補助金がないと回らない再生可能エネルギーは現状でゼロ。このため、韓国の電気代は日本のおよそ4割ほどの値段なのだという。

「原発を止めることで日本の電気代は大幅に上がります。孫さんは菅首相に働きかけてソーラー発電の全量買取り法案を推し進め、さらに電気代を上げようとしている。それで、自らは電気代の安い韓国へ施設を移転させるわけです。韓国で電気を安く買い、日本では自然エネルギーへの補助金をせしめる。非常に賢いやり方です」「太陽光発電は非常に広大な土地を必要とする。自治体からタダに近い値段で土地を貸してもらい、規制緩和でいろいろ優遇され、さらに再生エネルギーの全量を買って取ってもらって儲ける。人のフンドシで相撲を取るのがうまいだけで、社会貢献でもない」